

# 当科において胃癌の治療を受けられた方およびそのご家族の方へ

「腹腔鏡・ロボット胃切除双方に対する効率的な教育法の開発」へご協力をお願い

研究機関名 岡山大学病院

研究機関長 前田 嘉信

研究責任者 岡山大学病院 消化管外科 教授 藤原 俊義

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の背景および目的

ロボット胃切除術が保険承認されて以降、胃切除術に占めるロボット手術の割合は増加しています。一方で、施設によってはロボット未導入施設もあり、これまで通り腹腔鏡胃切除を行う必要性があります。そして中でロボット導入施設在籍時にロボット手術に偏った修練、執刀を行うことで、腹腔鏡手術の修練度が未熟となることが起こり得ると考えられます。こうした問題を解決するためにはロボット手術、腹腔鏡手術いずれにおいても存在するピットフォールを、双方の修練を行ないながら習得することが重要です。しかし、胃癌の手術件数は全国的に見ても減少傾向であるため、どちらも十分に修練することが難しくなることと予想されます。

ロボット手術は通常1人でほぼ遂行されますが、我々は患者側術者が腹腔鏡の器具などを用いて手術に積極的に介入することで、ロボット手術の助手をしながらも腹腔鏡手術に必要な要素を習得する”Double-surgeon technique”という方法を導入しました。本法のメリットは、①腹腔鏡手術の基本的な手技の習得、②患者側助手が手術のパートごとに関与（主導権がロボット術者であるため）するために、手術パート毎に深く習熟できることなどが挙げられます。さらに、ロボット術者となった際のメリットとして、本法では手術全体の流れが腹腔鏡手術とロボット手術で大きく変わらないため、問題なくロボット術者を開始できる可能性があると思われます。

こうした背景から、腹腔鏡手術、ロボット手術のいずれも習熟するための教育法の開発は重要であると考えられ、本研究を立案するに至り、後方視的に検討を行うこととしました。

### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

胃切除術におけるアプローチの方法はこれまでは腹腔鏡が主体でしたが、今後はロボットによるものが増加することが予想されます。一方で、腹腔鏡手術が行われなくなることはないと考えられ、その技術の習得もまた必須であると考えられます。Double-surgeon techniqueはそのような状況下であっても、偏った修練になるのではなく、双方修練を行うことができるという点、さらにロボット術者修練医、腹腔鏡術者修練医を同時に育成できるという点においても効率的な手術教育法であると考えます。今後減少すると思われる胃癌に対する腹腔鏡・ロボット術者を効率的に確保し育成することが可能となりえるかを明らかにする意義のある研究であると考えます。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2015年1月1日から2023年12月31日の間に岡山大学病院にて胃癌手術を受けた患者さんの中で、Double-surgeon technique 経験術者によって腹腔鏡・ロボットにより手術が行われた方、従来法術者にてロボット手術が行われた方50名を研究対象とします。

### 2) 研究期間

研究機関の長の許可日～2025年12月31日

情報の利用開始予定日：研究機関の長の許可日から1週間後

### 3) 研究方法

2015年1月1日～2023年12月31日の間に胃癌にて当院を受診された方で、研究者が診療情報をもとに患者さんの基本情報(年齢、性別、身長体重、診断名、予後情報等)、血液検査、手術所見、病理組織検査所見等を選び、治療結果、治療効果に関する分析を行います。

### 4) 使用する試料

ありません。

### 5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、身長、体重、BMI、既往症、麻酔リスク、予後情報
- ・ 診断名、診察所見、治療内容、血液や組織の検査データ、治療内容および術後経過

### 6) 外部への試料・情報の提供

提供しません。

### 7) 試料・情報の保存

この研究に使用した資料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院消化管外科医局で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の資料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

### 8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等(父母(親権者)、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人)を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

作成日 2024年1月20日

第1.0版作成

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 低侵襲治療センター

氏名：垣内 慶彦

電話：086-235-7257（消化器外科学教室医局、平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-221-8775